



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2016年11月9日]

第76回映画大使「コウノトリ大作戦！」

- ・ 期日 平成28年11月3日(木曜日・祝日) ※公開初日！
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

コウノトリが赤ちゃんを運んでくるという寓話(ぐうわ)をベースに、コウノトリの宅配便会社の騒動を描き映画化したハートフル・ファミリー・アドベンチャー。

監督は、アニメ初挑戦であり、「ネイバース」の監督のニコラス・ストローラーが、共同監督にはピクサー作品「ファインディング・ニモ」「モンスターズ・インク」のアニメーターであり初監督作「マジシャン・プレスト」でアカデミー賞にノミネートされたダグ・スウィートランドが担当した。

過去のある事件をきっかけに『赤ちゃんの宅配』を禁止されたコウノトリ宅配便社は、現在は小包の配達など売り上げ重視路線を走っていた。そんな中NO.1配達員のコウノトリのジュニアはある手違いから、赤ちゃんを届けることになる。次々に起こるおかしなトラブルに巻き込まれながらも奮闘する姿を立体感のあるアニメーションで描き出している。

代替版の声の出演には、人気お笑い芸人アンジャッシュの2人が担当、劇場用映画の声優に初挑戦した。主人公であるエース配達員『ジュニア』に渡部が、自らの出世のために『ジュニア』を追いかけるハトの『トーディ』を児嶋が務める。



(C) 2016 WARNER BROS.
ENTERTAINMENT INC.

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ☆ 楽しい映画でしたね！
- ☆ お子様に見てほしい作品でした！
- ☆ 内容がファンタスティックで楽しませていただきましたね！
- ☆ 気持ちが洗われるような作品でした！
- ☆ 子育ての頃を思い出しました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

赤ちゃんの可愛さが出ていて、赤ちゃんの魅力にメロメロになるという定番ストーリーでした。内容がファンタスティックで楽しませていただきましたね。

コウノトリが赤ちゃんを運んでくるというのは、西洋の考え方だとは思いますが、今でもヨーロッパではコウノトリを凄く大事にして、家の上にコウノトリが巣を作るような受け皿を造っているところもあると言う話なので、現実的なところとファンタスティックなところがあって、凄く楽しい作品でしたね。

お子様達に観ていただきたいなと思いました。

Bさん

赤ちゃんのいろいろな顔を見て、笑顔にならない人はいないかなと思うくらい心が豊かになりました。

楽しく観る事ができました。

Cさん

気持ちが洗われるような作品でした。

Dさん

赤ちゃんの笑顔に癒されました。

誰もが赤ちゃんには無抵抗で、赤ちゃんが可愛くて守りたいと思うという優しさが出ている作品だと思いましたね。

お子様に観てほしい作品でした。

楽しませてくれる作品でしたね。

Eさん

この作品を観て『赤ちゃんはあのようなだったな』などと、昔の自分の子育ての事を少し思い出しました。

私も最近はずっと子育てから離れてしまったので、今問題になっています赤ちゃんの声に騒音を感じる事も少しはありますが、この作品を子育てをしていた大人の方が観る事によって、昔を思い出して『自分もそうだったな』とか、『赤ちゃんは可愛いところもあるのよね』などという気持ちになるといいなと思いましたね。

Fさん

アメリカの作品によくあるストーリーだと思いましたね。

Gさん

私も子育ての頃を思い出しました。子どもの小さい頃はすぐ終わってしまって、私もこの作品の共働きの夫婦のように仕事が忙しかったりして、子どもの面倒をみる事ができなかったなと思いましたね。少し反省しながら観ていました。今は子どもも大きくなってしまっていて、もっと面倒をみればよかったなと思いましたね。

狼の行動がよく考えられていましたし、とても面白かったですね。

Hさん

私には子どもがいないのですが、赤ちゃんを手にする主人公の2人になってしまうのだらうなと思いました。いろいろな人や動物が赤ちゃんに気を使っていたのですが、やはりそうなるのだらうなとも思いましたね。

この作品では、1人っ子の男の子が弟をほしがることが描かれていましたが、アメリカでも日本でも1人っ子が増えていると思うので現実的な事も盛り込まれていると感じましたね。

Iさん

アニメ作品を初めて映画館で観ましたので、今まではテレビでしか観ていませんでしたので、どのようなものか興味津々で参加させていただきました。私は、80歳を過ぎたのですが、やはり胸が躍るんですよ。

私がこの作品を観て感じたのは日本の高齢化でした。私の住む地区には、子どもがいないので、この作品の赤ちゃんのような子がたくさん増えるといいなと観ながら願っていました。高齢化を吹き飛ばして、日本を、世界を明るくしてほしいという事を感じました。

アニメ作品を初めて映画館で観ましたが、大きな画面で観る事が出来て感動しました。素晴らしかったです。

楽しい映画でした。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・このような作品は安心して観ていただけますよね。
- ・お子様が観るのに時間がちょうどよかったですね。
- ・最近結婚をしたくない方が増えているようですが、この作品を観て結婚をしたいと思っていただくといいなと思いましたね。
- ・この作品の赤ちゃんは凄く可愛かったですね。ほほが緩んでしまいます。
- ・仲間はいつの間にか家族のようになっていくものだなと思いましたね。
- ・目が印象的で、立体的に描かれたアニメーションでしたね。
- ・主人公の2人の掛け合いがよかったですね。
- ・今、若い人で声優を目指している方が多いようですね。

まとめ

この作品のコウノトリが赤ちゃんを運んでくるという話しは、日本ではあまりなじみはない話ですが、『赤ちゃんはどこから来るの?』という小さな子どもからの質問に答えるために考えられ言い伝えられたものです。私の住む地域では『橋の下から連れてきた』や、『木の股から連れてきた』などがあり、地域や国により内容は違いますが、子どもに夢を与えるような少し現実から離れた話ももちいられています。

この作品はコウノトリが赤ちゃんを運ぶ寓話(ぐうわ)がベースになっていますが、奇想天外であつと驚くハブニングと、主人公の2人の掛け合いの面白さ、その他のキャラクターの個性や行動の面白さとスピード感により、とにかく楽しく観る事ができます。

また、ピクサーの作品のアニメーターが監督を務めている事もあり、3D版ではなかったのですが、アニメーションに立体感があり観やすかったです。

今回、映画大使では吹替版を観たのですが、お笑い芸人の『アンジャッシュ』のお2人が主人公『ジュニア』と、社長のスパイのハト『トーディ』を見事に演じられていました。

赤ちゃんの可愛さはもちろんありますが、仲間や家族の愛にも焦点があてられており、観る方の状況により感じ方は違いますが、大人の方から小さなお子様まで安心して観ていただける作品になっています。

劇場の大スクリーンで是非、ご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.